

第3次うるま市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)

平成30年度実績報告

市民部 環境課

第3次うるま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づく、平成30年度におけるうるま市の温室効果ガス排出量を報告致します。

資料1の図表1、図表2 ・ 資料2を参照いただきたいのですが、

図表1の平成30年度における温室効果ガス（GHG）の排出量実績は、二酸化炭素（CO₂）が**18,552 t-Co₂**、メタン（CH₄）が**61 t-Co₂**、一酸化二窒素（N₂O）が**132 t-Co₂**で合計排出量は、**18,745 t-Co₂**となっております。

全体排出量の**98.97%**を二酸化炭素が占め、温室効果ガス排出量全体の**91.33%**が電気使用量となっております。

図表2におきましては、実行計画に定められています数値目標の基準年度、平成28年度排出量**20,166 t-Co₂**と比較し、温室効果ガスは、**1,421t-Co₂**の減少で、増減率**7.05%**削減となっております。

なお、資料②におきましては、グラフ化しており、より確認しやすくなっていると思いますので、後ほど、ご確認ください。

資料③につきましても、平成21年度～平成30年度までの年度別の実績値 燃料使用量となっておりますので、後ほど、ご確認ください。

続きまして、温室効果ガス排出量全体の内、**91.33%**を占める電気使用量についてご説明いたします。

資料④の4ページ、電気使用量、前年度比の一番下をご覧ください。全体の電気使用量を前年度と比較致しますと、**約124万6千kwh**の減少となっております。

その減少の中で、幾つかご紹介いたします。資料④の1ページをご参照ください。

まず、与那城庁舎の**約23万6千kwh**大幅な減少につきましては、平成30年4月から、USEうるまスペース㈱へ管理が移り、同年10月12日に正式売却となっております。

次に、本庁舎（東棟・西棟）が**約13万1千kwh**と大幅な減少につきましては、東棟の開庁当初からの、空調機設定不具合が、平成30年度には、システム調整が完了した為、電気使用量が減少した主な要因だと聞いております。

温室効果ガス 排出量実績

石川庁舎は、台風による影響で電気使用量が減少したものと聞いております。

ほかには、勝連庁舎は、老朽化施設の解体に伴い、使用制限による減少と聞いております。

次に、3ページをご参照ください。

商工労政課の（じんぶん館・舞天館・あやはし館等）の約21万3千kwhと大きな電気使用量減におきまして、

【じんぶん館】では、電力会社を民間電力会社へ変更し、使用電力量をモニターする事で、より効果的な節電が出来るようになったことが原因と聞いております。又、複数個所の空調機修繕も一つの要因と聞いております。

【IT事業支援センター・舞天館】におきましても、空調機修繕を行った事により、消費電力が減少したと聞いております。

【東照間商業等施設】では、入居企業の一つが、H30年度3月に撤退しており、電気使用量が減少しております。

【あやはし館】は、空調設備を一部取替を行った事が、電気使用量の減少につながったと聞いております。

次に、4ページの下段をご参照ください。

ご参照ください。

幼稚園、小学校、小中学校の合計値におきまして、約23万2千kwhの減少となっております。

中学校におきましても、約19万6千kwhの減少であります。

前回、学校関係では、幼稚園と小学校の合計と、中学校の合計の2分別でしたが、

今回は、幼稚園、小学校、小中学校、中学校の4分別で、電気メーターごとの集計となっております。

この事は、今後、エネルギー対策の原因究明や改善を図るため、出来るだけデータを細分化したい事からであります。

更に、教育委員会のほうでは、毎月、各学校へ電気使用料金の前年比較表を送付しているとの事で、意識的に節電に取り組んでいる学校は減となっている事と、平成30年10月に台風が来た際に具志川地区の学校が停電し、2日ほど電気の使用が出来なかった事も減少となった原因と聞いております。

以上が、平成30年度実績報告の概要であります。

【図表1】 温室効果ガス 項目別排出量(平成30年度実績)

単位：t-Co2

項目	ガソリン	灯油	軽油	A重油	液化石油ガス	電気使用	計
	ガス量(t-Co2)	336	12	157	858	69	17,120
全体の割合(%)	1.79%	0.06%	0.84%	4.58%	0.37%	91.33%	98.97%
メタン(CH4)	項目	下水処理量					計
	ガス量(t-Co2)	61					61
	全体の割合(%)	0.33%					0.33%
一酸化二窒素(N2O)	項目	下水処理量					計
	ガス量(t-Co2)	132					132
	全体の割合(%)	0.70%					0.70%
合計ガス量(t-Co2)						18,745	100%

※メタン(CH4)及び一酸化二窒素(N2O)は、温暖化係数を掛け二酸化炭素(Co2)換算にて算出

※温暖化係数とは、Co2を1とした場合の相対値 Co2=1 CH4=21 N2O=310

【図表2】 温室効果ガス 排出量実績(基準年度比較)

単位：t-Co2

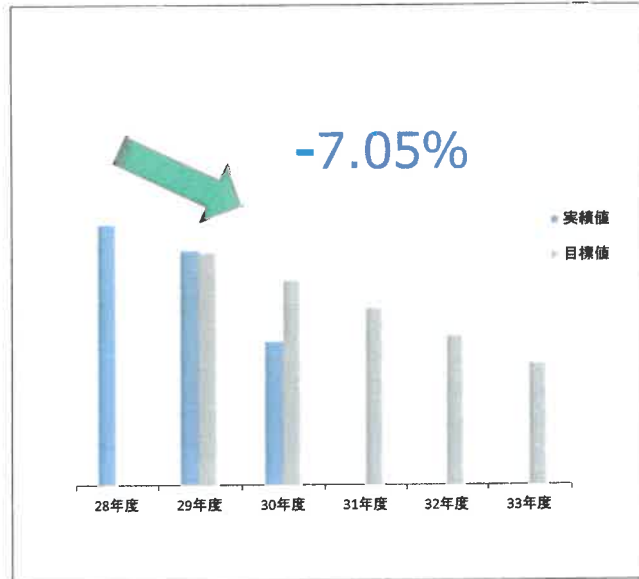
	二酸化炭素(Co2)	メタン(CH4)	一酸化二窒素(N2O)	温室効果ガス計(GHG)
基準(平成28年度)	19,982	58	126	20,166
実績(平成30年度)	18,552	61	132	18,745
増減量	-1,430	3	6	-1,421
増減率	-7.16%	5.17%	4.76%	-7.05%

※メタン(CH4)及び一酸化二窒素(N2O)は、温暖化係数を掛け二酸化炭素(Co2)換算にて算出

※温暖化係数とは、Co2を1とした場合の相対値 Co2=1 CH4=21 N2O=310

第3次 うるま市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）

平成30年度 実績・目標値

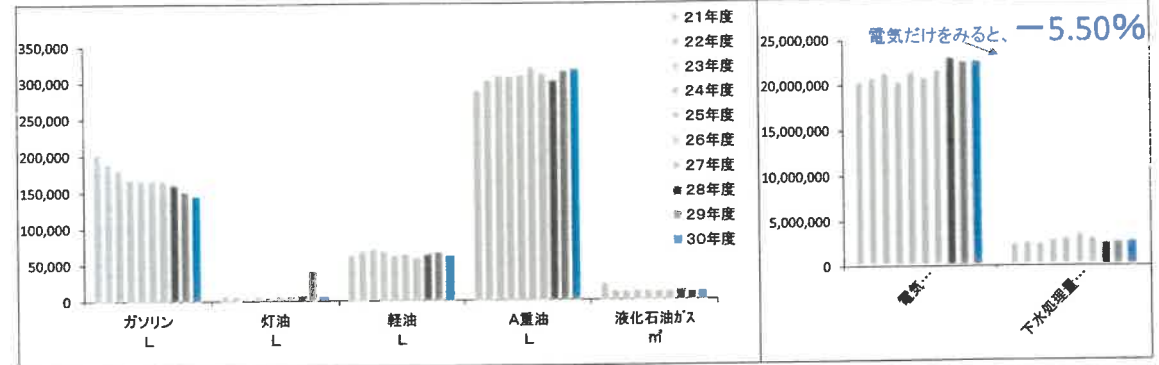


温室効果ガス	実績値		目標値	
	値	H28対比	値	H28対比
28年度	20,166			
29年度	19,851	-1.56%	19,830	-1.7%
30年度	18,745	-7.05%	19,494	-3.3%
31年度			19,158	-5.0%
32年度			18,822	-6.7%
33年度			18,486	-8.3%

年度別 燃料使用量

【平成21～30年度 実績値】

資料③



計画	年度	ガソリン L	灯油 L	軽油 L	A重油 L	液化石油ガス m³	電気 kwh	下水処理量 m³ (メタン・酸化二重素)
第一次計画	21年度	202,766	6,642	63,120	288,033	22,746	20,474,239	2,592,087
	22年度	189,775	6,931	69,123	302,346	12,099	20,896,589	2,743,127
	23年度	182,317	5,526	71,774	308,359	12,272	21,474,985	2,649,041
	24年度	167,519	5,999	68,772	307,412	11,832	20,462,216	3,005,948
	25年度	167,090	3,403	62,311	308,668	11,725	21,534,635	3,130,603
	26年度	166,829	4,720	64,274	320,184	11,433	20,947,669	3,706,346
第二次計画	27年度	166,755	4,266	58,831	311,333	11,234	21,707,507	3,186,676
	28年度	160,330	5,848	63,398	301,250	11,622	23,116,303	2,635,506
第三次計画	29年度	150,990	39,685	66,526	314,422	10,640	22,673,226	2,762,795
	30年度	144,664	4,932	60,653	316,831	10,570	21,427,066	2,762,390

※ A重油とは… A重油は、ボイラーなどに使用されます。

温室効果ガス算出表

△は、効果が現れたことを意味します。

部局	部署	課	施設	ガソリン使用量 (L)			軽油使用量 (L)			電気使用量 (kWh)			総 計 k g -Co2				増減理由
				29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	増減率	
市長部局	企画部	企画政策課		0	1,244	1,244	0	0	0	0	0	0	0	2,888	2,888	64	※前回、報告なし。
市長部局	企画部	資産管理課		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	所管異動による
市長部局	企画部	資産管理課	●旧伊計小→H28.4～N高等学校へ無償貸与 ●旧浜中1F(4F)センター→H29.9～市民協働課へ移管 ●旧浜中2・3F(地域情報センター)情報課の機器設置(浜・比嘉自治区)→H28～ ●旧比嘉小→H29～防災一時避難場所	0	0	0	0	0	0	2,347	1,189	△ 1,158	1,875	950	△ 925	28	所管異動による ※ 旧浜中と旧比嘉小の所管異動。
市長部局	企画部	資産管理課	与那城庁舎 (電気共通)	0	0	0	0	0	0	236,936	0	△ 236,936	189,351	0	△ 189,348	2	H30.4～USEうるまスペース(株)へ売却 (正式売却は10/12)
市長部局	企画部	秘書広報課		955	1,222	267	0	0	0	0	0	0	2,217	2,838	621	57	※特になし
市長部局	企画部	情報課	・Wifi設備 (津堅島) ・地デジ共通設備機器 (平数屋・池味・宮城)	0	0	0	0	0	0	1,452	1,452	0	1,160	1,160	0	49	※特になし
市長部局	企画部	防災基地渉外課		422	421	△ 1	74	23	△ 51	0	0	0	1,169	1,034	△ 135	42	※特になし
市長部局	総務部	管財課	本庁舎 東・西棟 (電気共通)	9,574	9,394	△ 180	90	66	△ 24	0	0	0	22,461	21,982	△ 479	32	H30年度に車両を新規購入した事で燃費が向上した。
市長部局	総務部	管財課	石川庁舎 (電気共通)	0	0	0	0	0	0	1,810,740	1,679,650	△ 131,090	1,446,981	1,342,252	△ 104,703	6	東棟空調のシステムを調整した為、電気使用量が大幅に減少した。
市長部局	総務部	管財課	勝連庁舎 (電気共通)	0	0	0	0	0	0	406,757	391,663	△ 15,094	324,999	315,063	△ 9,930	16	台風の影響と思われる
市長部局	総務部	市民課		0	0	0	0	0	0	64,570	41,897	△ 22,673	51,591	33,476	△ 18,114	11	老朽化施設の解体に伴い、使用制限による減少。
市長部局	総務部	市民課		830	739	△ 91	0	0	0	0	0	0	1,926	1,715	△ 211	40	※特になし
市長部局	福祉部	福祉総務課		154	177	23	0	0	0	0	0	0	358	411	53	50	※特になし
市長部局	福祉部	保護課		4,744	6,255	1,511	0	0	0	0	0	0	11,014	14,521	3,507	65	1. 被保護者の増加に伴い訪問件数が増えた。 2. 他課でで不用となった公用車を譲渡してもらい課所有台数が増えた (11台→12台)
市長部局	福祉部	介護長寿課		7,859	8,297	438	0	0	0	0	0	0	18,247	19,263	1,016	60	徴収員が4人から5人に増員され訪問件数が増えた。また、認定調査実施件数が288件増加。
市長部局	福祉部	介護長寿課	出先機関、上原自治会 (福祉センター)	0	0	0	0	0	0	9,527	6,283	△ 3,244	7,612	5,020	△ 2,592	23	大風24号 (9月) の被害に遭ったことで建物の利用制限があり、結果としてクーラー等の使用が減った。また、節電に取り組んだため使用量が減った。
市長部局	福祉部	障がい福祉課		1,560	1,404	△ 156	0	0	0	0	0	0	3,621	3,259	△ 362	37	管財課の供用車を利用することも多い為、特別な要因は無し。
市長部局	こども部	こども未来課		1,914	2,224	310	0	176	176	0	0	0	4,444	5,616	1,172	61	※揮発油：マイクロバス、レンタカー等の車両使用が増加したため。
市長部局	こども部	こども未来課	出先機関 みどり町児童センター、宮城児童館、屋敷名児童館、なかさす児童センター、いしかわ児童館、きむたかこどもセンター、田場学童クラブ、南原学童クラブ、シビックセンター学童クラブ	0	0	0	237	0	△ 237	120,014	132,607	12,593	97,578	107,295	9,719	67	★夏場冬場 (7月～3月) の電気使用量が増加した理由 ※石油ガス：こども食堂の回数や、対象者が増加したことにより、調理の機会が増えたため。 ※電気：こども居場所の回数が増加したこと、開館時間が延びた事により電気使用量が増えたため。また、熱中症対策のため、空調使用が増えたため。 ※前年度において、シビックセンター学童クラブの数値 (今回12,686kWh) が抜けていたことも大きな理由。
市長部局	こども部	保育幼稚課		392	384	△ 8	0	0	0	0	0	0	910	891	△ 19	46	※特になし
市長部局	こども部	保育幼稚課	安慶名保育所、豊原保育所、石川保育所、きむたか保育所、与那城保育所、子育て支援センター	0	0	0	0	0	0	222,612	203,405	△ 19,207	205,888	191,129	△ 14,755	13	※夏場のクーラー故障により、使用回数が減少したため。
市長部局	こども部	児童家庭課		1,509	1,474	△ 34	0	0	0	0	0	0	3,503	3,423	△ 80	44	※特になし
市長部局	こども部	こども健康課		918	973	55	42	52	10	0	0	0	2,241	2,395	154	53	※訪問等による使用が増えたため。
市長部局	市民部	市民協働課		1,014	841	△ 173	37	73	36	0	0	0	2,450	2,140	△ 310	38	※H29年度は防犯カメラ等緊急整備事業に伴い外での調整及び現場調査等の外勤が多かったが、H30年度は現場調査等の外勤が減ったため、それに伴いガソリン使用量も減ったと考える。
市長部局	市民部	市民協働課	平数屋旅客待合所	0	0	0	0	0	0	27,558	27,069	△ 489	22,019	21,628	△ 391	34	※特になし

温室効果ガス算出表

△は、効果が現れたことを意味します。

部局	部署	課	施設	ガソリン使用量 (L)			軽油使用量 (L)			電気使用量 (kWh)			総計 kg-CO2				増減理由
				29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	削減順位	
市長部局	市民部	健康支援課		5,077	4,957	△ 120	0	0	0	0	0	0	11,788	11,509	△ 279	39	※公用車の修繕が続き、走行していない期間があったためガソリン使用量減少。
市長部局	市民部	健康支援課	健康福祉センター うるみん	0	0	0	0	0	0	996,622	949,564	△ 47,058	911,133	865,152	△ 45,965	10	※重油のオペレーションを最適化したため減少。 ※調理室利用者増のため、ガス使用量増加。 ※設備担当によるデマンドコントロールで電気使用量減少。
市長部局	市民部	国民健康保険課		1,474	1,468	△ 6	0	0	0	0	0	0	3,422	3,408	△ 14	47	
市長部局	市民部	環境課		2,629	2,701	73	8,836	9,817	981	0	0	0	28,943	31,647	2,705	63	※現場確認及び粗大ごみ回収量増加に伴う燃料費増。
市長部局	市民部	環境課	出先機関 浸出水処理施設 津堅島 小型焼却炉	0	0	0	0	0	0	25,748	24,108	△ 1,640	20,573	19,262	△ 1,311	25	※新規施設（津堅島小型焼却炉）稼働に伴う電気使用量増。
市長部局	経済部	産業政策課			1,083	1,083						0	0	2,514	2,514	62	※ETC搭載車を経済部全体で利用することに伴い、使用量が増加したと思われる。
市長部局	経済部	農政課		3,977	3,384	△ 593	1,661	1,813	152	0	0	0	13,526	12,543	△ 983	27	※H29年度の農業振興地域整備計画見直しに係る現場確認等完了した為。 ※車両以外のガソリン増は、チャーター用、草刈り機用、津堅島イモソウムシ等根絶のための作業回数が増えたため。
市長部局	経済部	農政課	農家高齢者創作館、農民研修施設、勝連農村環境改善センター、与那城農村環境改善センター、農村婦人の家	0	0	0	0	0	0	2,265	24,093	21,828	1,810	19,250	17,440	68	※電気については、利用回数の減
市長部局	経済部	農水産整備課		3,319	3,560	241	0	0	0	0	0	0	7,705	8,264	559	56	※車両使用：災害時のパトロール及び県庁への事業ヒアリングが増加したため、車両以外（草刈り機）除草作業に使用。
市長部局	経済部	農水産整備課	津堅ため池、石川ダムポンプ場、2号貯水池（津堅）	0	0	0	0	0	0	6,396	14,016	7,620	5,110	11,199	6,089	66	※電力使用量：地域要望に応じて、津堅ため池（ミーガー）の使用時間が増加したため。
市長部局	経済部	観光振興課		5,387	3,427	△ 1,960	173	110	△ 63	0	0	0	12,954	8,239	△ 4,715	21	※ガソリン：商工係と観光係の機構改革があり、分かれたことにより祭業務が減少したため。 ※軽油：祭準備片付け時に他課から借用するディーゼル車両が減少したため。
市長部局	経済部	観光振興課	安慶名闘牛場、石川多目的ドーム、世界遺産勝連運跡休憩所、観光トイレ（照間）、観光トイレ（屋敷名）、観光トイレ（平安座）、観光トイレ（伊計・大泊）、観光トイレ（伊計ビーチ内）、観光トイレ（伊計・東浜）、観光トイレ（伊計・前の浜）、ロト・パーク（協会）、ロト・パーク（風車）、ロト・パーク（駐車場照明及びライト）	0	0	0	0	0	0	154,065	146,260	△ 7,805	123,098	116,862	△ 6,234	19	※所管異動（あやはし館、東照間地内工場→商工労政課）により減
市長部局	経済部	商工労政課		667	1,018	351	0	0	0	0	0	0	1,548	2,363	815	59	※公用車の台数について2台に減少したためガソリン代が減少。車両以外については草刈りを外注。
市長部局	経済部	商工労政課	いちゅい真志川じんぶん館、石川地域活性化センター・舞天館、IT事業支援センター、あやはし館、東照間地内工場	2,589	0	△ 2,589	0	0	0	2,148,090	1,934,423	△ 213,667	1,723,581	1,550,346	△ 173,204	3	※灯油については食堂のボイラーの灯油を指定管理者が負担していたが、今年度より食堂経営者が負担。 ※電気についてはエアコンの入れ替えなどで大幅に電気使用量が改善された。 【じんぶん館】：H30年度に電力会社を沖縄電力から民間電力会社に変更したことで、使用電力量をモニターする事が可能となり、より効果的な節電を行う事が出来るようになったため。又、複数箇所の空調機修繕を行ったことも減少の要因と考えられる。 【東照間商業等施設】：減少の理由として、入居企業の一つがH29年度の2月より使用スペースを減らして使用し、それがH30年度いっぱいまで続いている。それに加え、使用スペースを減らした入居企業がH30年度3月には撤退しており、その分電力使用量が減少していると考えられる。 【あやはし館】：H30年度において、入居していない部分（食堂及びレストラン）が一時的であったため、電力使用量が減少したと考えられる。又、空調設備の一部取替を行ったことも要因の一つとして考えられる。 【IT事業支援センター・舞天館】：減少については、H30年度に大規模な空調機修繕を入れたため、空調による消費電力が減少したと考えられる。 ※ 電気量が大きく増えた理由としては、前年の数値が電気平準化時間帯計「夏場（7/1～9/30）・冬場（12/1～3/31）」の数値になっていた事が原因です。
市長部局	都市建設部	都市政策課		1,999	1,839	△ 160	0	0	0	0	0	0	4,641	4,270	△ 371	36	※同一車両乗合に努めたため車両ガソリン使用量が減少した。
市長部局	都市建設部	都市政策課	うるま地域交流センター	0	0	0	0	0	0	22,436	17,332	△ 5,104	17,926	13,848	△ 4,078	22	※交流センター施設使用の減少に伴い電気使用量も減量となった。

温室効果ガス算出表

△は、効果が現れたことを意味します。

部局	部署	課	施設	ガソリン使用量 (L)			軽油使用量 (L)			電気使用量 (kWh)			総 計 k g -Co2				増減理由
				29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	削減順位	
市長部局	都市建設部	勝運城跡周辺整備室		568	934	367	17	0	△ 17	0	0	0	1,361	2,169	808	58	※H30年度より整備工事が始まり、現場立ち合い等が増えたため。
市長部局	都市建設部	道路公園課		2,292	2,337	45	0	0	0	0	0	0	5,322	5,432	110	52	※ガソリン増量：災害対応及び他課借用などにより公用車使用が増えたため。 ※灯油使用：草刈作業
市長部局	都市建設部	建築工事課		1,269	1,072	△ 197	0	0	0	0	0	0	2,945	2,489	△ 456	33	※増減率が微量の為、理由不可。
市長部局	都市建設部	用地課		2,922	1,913	△ 1,009	0	0	0	0	0	0	6,784	4,441	△ 2,343	24	※他課のETC車借用等により、乗車する機会が減ったため。
市長部局	都市建設部	維持管理課		13,899	11,277	△ 2,622	17,523	14,159	△ 3,364	0	0	0	77,696	62,816	△ 14,879	12	※車両以外の軽油増は、台風など自然災害の影響により、バックホウなどの使用が増えたため。
市長部局	都市建設部	維持管理課	公園等96カ所	0	0	0	0	0	0	196,119	256,527	60,408	156,699	204,965	48,269	69	※公園数が増え、イベント等による公園利用も増えたため。
市長部局	都市建設部	建築行政課		850	690	△ 161	0	0	0	0	0	0	1,974	1,602	△ 372	35	※不明
市長部局	都市建設部	検査課		83	42	△ 41	0	0	0	0	0	0	192	98	△ 94	43	※同一車両乗合に努めたためガソリン使用量が減少した。
市長部局	水道部	総務課・営業課・工務課	水道庁舎	6,769	7,771	1,001	0	272	272	434,576	412,858	△ 21,718	362,944	348,619	△ 14,318	14	※ガソリン：外勤の増加。 ※軽油：台風による発電機利用のため。 ※石油ガス：労働作業によるシャワー利用が減ったため。
市長部局	水道部	下水道課		7,773	4,095	△ 3,679	1,098	1,976	878	0	0	0	20,886	14,614	△ 6,272	18	※ガソリン（車両）：前年報告に集計ミスがあり約3600ℓ多く計上したため。 ※ガソリン（車両以外）：草刈作業の源による。 ※軽油（車両）：台風襲来が例年より多く、作業車両の使用回数が増加したため。 ※軽油（車両以外）：台風により市内全域で長時間停電が発生し、非常用発電機の稼働時間が激増したため。
市長部局	水道部	下水道課	石川終末処理場 農業集落排水処理施設（津堅地区）及 び中継ポンプ場（11カ所）	0	0	0	0	0	0	2,142,053	2,009,938	△ 132,115	1,905,039	1,794,839	△ 110,166	5	※電気：前年度増減率が微量のため、理由は不可。
消防本部	消防本部	総務課・予防課 警防課・各署	消防庁舎	31,289	32,306	1,017	11,480	11,602	123	245,372	235,501	△ 9,871	303,280	297,623	△ 5,652	20	※ガソリン、軽油、石油、電気共に、前年度増減率が微量のため、理由は不可。
教育委員会	教育部	教育総務課		1,590	1,361	△ 229	0	0	0	0	0	0	3,691	3,159	△ 532	30	※特になし
教育委員会	教育部	学校施設課	幼・小・中の電気は、学務課	2,152	2,057	△ 96	1,201	871	△ 330	0	0	0	8,101	7,026	△ 1,075	26	※学校施設課で所有していたコンテナ車を廃車したことによる軽油使用量減。 ※草刈り機等の使用機会が増えたため、車両以外のガソリン使用量増。
教育委員会	教育部	生涯学習文化振興センター	ゆらてく、石川地区公民館、勝運地区公民館、与那城地区公民館	2,944	1,386	△ 1,558	73	104	31	682,572	706,780	24,208	639,408	569,679	△ 69,717	8	※増減率が微量の為、理由不可。
教育委員会	教育部	生涯学習文化振興センター	市民芸術劇場	901	794	△ 107	139	194	55	547,129	464,155	△ 82,974	439,607	373,206	△ 66,393	9	※増減率が微量の為、理由不可。
教育委員会	教育部	生涯学習室* - 9 振興課		5,301	6,057	756	2,890	2,384	△ 507	0	0	0	19,972	20,341	369	54	※増減率が微量の為、理由不可。
教育委員会	教育部	生涯学習室* - 9 振興課	具志川運動公園管理事務所、具志川総合体育館、具志川総合グラウンド、具志川庭球場、具志川野球場、喜屋武マープ公園庭球場、具志川ドーム、具志川多用途競技場、石川体育館、石川プール、石川屋内運動場、石川庭球場、石川野球場、勝運総合グラウンド、勝運B & G 海洋センター（7 リーチ・武道場・プール・管理室）、与那城総合公園陸上競技場、与那城総合公園多目的広場、与那城総合公園庭球場、与那城総合公園多用途競技場	0	0	0	0	0	0	960,728	839,204	△ 121,524	767,622	670,524	△ 97,084	7	※増減率が微量の為、理由不可。
教育委員会	教育部	文化財課		2,968	2,636	△ 332	12	8	△ 4	0	0	0	6,921	6,140	△ 781	29	※ガソリン（車両以外）：草刈の回数が減ったため減少。 ※軽油（車両）：H30年度より文化振興係が生涯学習文化振興センターへ部署異動したため減少（ディーゼル車1台移管）

温室効果ガス算出表

△は、効果が現れたことを意味します。

部局	部署	課	施設	ガソリン使用量 (L)			軽油使用量 (L)			電気使用量 (kWh)			総 計 kg-CO2				増減理由
				29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	29年度	30年度	前年度比	削減順位	
教育委員会	教育部	文化財課	石川歴史民族資料館、与那城歴史民族資料館、海の文化資料館、市民芸術劇場（H29年から別管理）、石川会館、きむたかホール、伊波メッセ織作業所、地下道、勝連文化財資料室、文化財倉庫（旧勝連幼稚園）	0	0	0	0	380	380	148,626	241,361	92,735	118,752	193,829	75,079	72	※軽油（車両以外）：台風被害により与那城資料館の発電機を稼働したため増加。 ※電気：H30年度より、与那城資料館、海の文化資料館の管理が管財課より移管となったため増加。
教育委員会	教育部	文化財課	図書館（中央図書館、石川図書館、勝連図書館）	254	208	△ 46	0	101	101	245,417	229,117	△ 16,300	196,679	183,808	△ 12,867	15	※増減率が微量の為、理由不可。
教育委員会	指導部	指導課		1,138	1,109	△ 30	0	0	0	0	0	0	2,643	2,574	△ 69	45	※増減率が微量の為、理由不可。
教育委員会	指導部	教育研究所		946	1,122	177	0	0	0	0	0	0	2,196	2,606	410	55	※相談件数の増加により、移動距離が長くなったため。
教育委員会	指導部	青少年センター		1,289	1,068	△ 220	0	0	0	0	0	0	2,991	2,480	△ 511	31	※増減率が微量の為、理由不可。
教育委員会	指導部	給食センター	（給食係、具志川第1調理係、具志川第2調理係、石川調理係、勝連調理係、与那城調理係、与勝調理係）	1,288	1,319	31	6,508	6,748	239	695,846	748,630	52,784	1,357,536	1,408,229	50,718	70	※子ども食堂の回数が増加し、調理の機会が増えた事による増が考えられる。
教育委員会	指導部	学務課		1,420	2,442	1,022	14,243	9,620	△ 4,623	0	0	0	40,114	30,535	△ 9,578	17	※増減率が微量ですが、スクールバス運行日数が減っているため使用量についても減となって
教育委員会	指導部	学務課	幼稚園（18校中の4校分）	0	0	0	0	0	0	72,901	72,901	0	58,248	58,248	71	※増減率が微量ですが、毎月各学校へ使用料金の前年比較表を送付しているため、意識的に節電に取り組んでいる学校は減となり、また、H30.10に台風が来た際に具志川地区の学校が停電し2日ほど電気の使用ができなかった為、減になったと思われます。	
教育委員会	指導部	学務課	小学校（16校「幼稚園14園含む」）	0	0	0	0	0	0	6,564,857	5,945,305	△ 619,552	5,245,321	4,750,299	△ 494,927	1	※同上 ※削減順位は1位となっているが、前回は、幼稚園と小学校が合計されていたが、今回から細分化したため。
教育委員会	指導部	学務課	小中学校（2校）	0	0	0	0	0	0	314,455	314,455	0	251,250	251,250	73	※同上	
教育委員会	指導部	学務課	中学校（10校「旧宮城中含む」）	0	0	0	0	0	0	3,551,796	3,355,323	△ 196,473	2,837,885	2,680,903	△ 156,931	4	※同上
議会事務局	議会事務局	議会総務課		449	554	105	146	93	△ 52	0	0	0	1,417	1,527	110	51	※増減率が微量の為、理由不可。
農業委員会	農業委員会	農業委員会事務局		1,673	1,630	△ 43	48	13	△ 35	0	0	0	4,008	3,818	△ 190	41	※軽油：管財課所有のマイクロバス借用回数の減。
合 計				150,989	144,664	△ 6,325	66,526	60,653	△ 5,873	22,673,226	21,427,066	△ 1,246,160	19,851,359	18,740,913	△ 1,110,087		

※ t-CO2換算

19,851 t-CO2 18,741 t-CO2 △ 1,110